

# 令和5年度文京区障害者地域自立支援協議会

## 第4回子ども支援専門部会 次第

日時 令和6年2月8日(木)午後2時開始(予定)

会場 文京シビックセンター3階 障害者会館会議室C

### 1 開会

### 2 議題

- (1) 事例検討の実施について【資料第1号】
- (2) 保護者支援について【資料第1号】【資料第1号別紙】
- (3) 令和6年度子ども支援専門部会(案)について【資料第1号】

### 3 その他

#### 【参考資料】

- ・ インシデント・プロセス法を活用した事例検討の進め方
- ・ペアレントメンターガイドブック
- ・障害者地域自立支援協議会全体会

議題(1)  
事例検討の実施について

# 事例検討の実施（案）

- ①目的 切れ目のない支援を実現するため、支援者の縦横（縦：年齢を超えた、横：分野を超えた）の連携を図る。
- ②内容 各分野の視点から意見できるケースについて、グループで分かれて検討→全体で発表
- ③参加者 子ども支援専門部会員、都立特別支援学校教員、文京区立特別支援学級教員、発達支援施設職員、成人福祉施設職員等
- ④位置づけ 子ども支援専門部会のいずれか1回として実施
- ⑤時期 8月～12月（第2回か第3回）
- ⑥時間帯 10時から17時までのうち2時間程度

# 議題(2) 保護者支援について

# 子ども支援に係る地域課題

## ①支援者の連携

子どもを中心とした切れ目ない支援体制（チーム）を構築するために、  
機関同士の顔の見える関係構築が求められる。→事例検討会等の実現

## ②保護者支援

- ・ 障害児相談支援の不足、障害受容や支援ニーズの意識が薄い保護者への働きかけ、  
専門機関に繋がる前の相談、敷居の低い相談の場が必要。
- ・ 必要な情報が不足していたり、今ある支援をどう組み合わせるか、支援が求められる。  
→「だれ」が「どのように」？

## ③情報共有

- ・ 保護者の同意を得たうえで個人情報を含む情報を切れ目なく共有することが必要。
- ・ 個人情報をまとめたサポートブック「ふみの輪」を保護者単独で作成するのは困難。
- ・ 保護者支援と情報共有はセットで考える必要。

→まず「保護者支援」のあり方を再検討

# ペアレントメンター鳥取（鳥取県）

- ・ペアレントメンター

「発達の気になる子どもを育てた経験を活かして、他の保護者のよき相談相手となり、悩みの共感や助言等ができる者として研修を修了した先輩保護者たち」

- ・活動内容

電話相談等の個別相談、保護者勉強会、理解啓発活動、ペアレントトレーニングへの協力、メンターの養成、サポートブックの作成協力、研修会などでの情報提供

※詳細は別紙のチラシ参照

議題(3)

令和6年度子ども支援専門部会（案）

について

# 令和6年度 子ども支援専門部会（案）

第1回 保護者支援、「ペアレントメンター」について意見交換

第2回 事例検討の実施

…支援者の縦横の連携、顔の見える関係性づくり  
福祉サービスに関する知識の共有

第3回 相談・地域生活支援専門部会との合同開催

…成人期から未成年期へのフィードバック  
未成年期から成人期へのサービスのつなぎ

第4回 R6総括、R7実施方針について意見交換